



# ひよこぐみだより

9月号



## てづくりおもちゃの しょうかい



尚徳福祉会 とちょう保育園

ここではクラスにある手作り玩具を紹介したいと思います♪



外に出ればまだまだ汗ばむ時期ではありますが、朝晩は過ごしやすい日が増え、少しずつ季節の移り変わりを感じる頃となりました。

先月は水遊びや蝉探しなど、ひよこ組にとっては初めてづくしの夏でした。水遊びでは、初めは不安そうな表情が見られましたが、保育士や友だちと一緒に少しずつ水に触れることで水の感触や冷たさを楽しめるようになり、笑顔も多く見られました。戸外活動では、蝉の鳴き声に気が木に止まっている蝉を見つめたり、指差したりと興味津々な様子が見られました。目の前で見る抜け殻にはほとんどの子が物怖じせず触れたり手のひらに乗せたりし、喜んでいたのが印象的でした。また、低月齢児のお子さんは初めての散歩、つかまり立ちが安定してきた子は立ち乗りバギーでの散歩も経験しました。喜んで乗っている子、不思議そうな表情で乗っている子などリアクションは様々でしたが、どこからともなく楽しそうな声がたくさん聞かれました。

このひと夏で一回り二回りも大きく成長した子どもたち。少したくましくなったようにも感じます。これからもいろいろな経験を一緒に重ねていきながら、成長を見守っていかれたらと思います。



おもちゃの消毒・洗濯はこまめに  
行っています。

マジックテープのついた布にフェルトで作った野菜や布材で作ったいろいろな形のものを貼ったり剥がしたりするおもちゃです。低月齢児のお子さんは手を持って口にくわえたりし、布の感触を確かめて楽しんでいます。

ウォールポケットにいろいろな形をした布材を出し入れして遊ぶおもちゃです。初めは遊び方が分からずにいた子も保育士と一緒にいることで遊び方を覚え、今では一人で集中して楽しんでいる姿が見られるようになりました。

タッパーの上を円型に切り取り、洗濯ボールを使ったポットン落としを作りました。大きめに切ったことで自分で取り出すこともでき、繰り返し行っている姿が見られます。低月齢児のお子さんは転がっているものをつかんだり、洗濯ボールをくわえて感触を楽しんだりしています。